

12月 イチゴ 栽培管理 (2023)

アグリ技研 (株)

日	生育期	肥培管理
1日		電照・前夜温確保の調整で生育促進
2日		
3日		<p>「栄養成長気味の場合は、P・Kやアミノ酸肥料の追肥」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥大促進に「ウルル18号」5kgや「カリっと」1kg。 ・根域充実に「アミクエ」5～7日置き5～10kg灌水処理。 ・「コラーゲン・ラボ」500倍の葉面散布又は灌水処理。
4日		
5日		
6日		
7日		
8日		
9日	栄養成長期	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に「カル元気」や「有機カルトップ」の施肥。 ・生育促進に「ウルル18号」5kg灌水処理。 ・草勢維持に「コラーゲン・ラボ」500倍の葉面散布。
10日		
11日		
12日		
13日		
14日		
15日		
16日	ハウスの開閉と同時に炭酸ガス施用 (日中の濃度は450～500ppm)	
17日		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に「カル元気」や「有機カルトップ」の施肥。 ・生育促進に「ウルル18号」5kg灌水処理。 ・草勢維持に「コラーゲン・ラボ」500倍の葉面散布。
18日		
19日		
20日		
21日		
22日		
23日	電照・前夜温 (3時間のアップ) の調整で生育促進	
24日	生殖成長期	<ul style="list-style-type: none"> ・2番果の整理作業・複合環境制御の充実 ・出蕾期にホウ素の追肥
25日		
26日		<ul style="list-style-type: none"> ・草勢維持に「コラーゲン・ラボ」500倍の葉面散布 ・株疲れ対策「アミクエ」5～7日置き5～10kg灌水処理 ・芯葉の展開遅延や濃葉には「フショクフル」5kg処理
27日		
28日		
29日		
30日		
31日		
ポイント	この時期は、収穫最盛期となり環境的には、厳寒期で生育パターンや品種では、株疲れとなる時期です。芯葉の展開位置や色・厚さを十分に把握して生育に応じた対策に努めましょう。	